

2020 年度学校健診後調査結果 歯科・耳鼻科の未受診率が上昇

県保険医協会は、新型コロナウイルス感染拡大後における①学校健診での各種健診・検査の要受診率の把握②要受診者が受診できる環境にあるかの把握③未受診の児童・生徒の学校での様子や困りごと、健康管理や受診を阻む要因の把握、を目的としてアンケート調査を行った。調査期間は 2021 年の 3 月 1 日から 25 日、調査対象は長野

	回答数	回収率
小学校（363 校）	97	26.7%
中学校（195 校）	49	25.1%
高校（97 校）	20	20.6%
特別支援学校（21 校）	6	28.6%
無回答	13	
総数（676 校）	185	27.4%

1. 要受診者に対する未受診割合

区分	健診実施数	要受診者	受診者	未受診	未受診率	前回調査
歯科健診	44,224	12,570	5,342	7,228	57.5%	54.6% (+ 2.9%)
眼科健診	35,099	1,090	550	540	49.5%	59.1% (▲ 9.6%)
視力検査	45,957	14,977	6,715	8,262	55.2%	57.6% (▲ 2.4%)
耳鼻科健診	27,414	2,789	1,236	1,553	55.7%	58.9% (▲ 3.2%)
聴力検査	34,538	262	164	98	37.4%	27.5% (+ 9.9%)
内科健診	45,685	1,573	1,027	546	34.7%	38.5% (▲ 3.8%)

前回調査（2018 年）と比較すると未受診率は改善された健診が多いが、聴力検査と内科健診以外は依然として約半数以上で受診をしていない。前回調査と比較して歯科健診、聴力検査後の未受診率が上昇し、歯科の未受診率が 57.5%と最も高くなった。

2. 診療科別事項

(1) 歯科健診

区分	健診実施数	要受診者	受診者	未受診	未受診率
小学校	21,512	6,828	3,477	3,351	49.1%
中学校	10,764	2,548	768	1,780	69.9%
高校	8,166	1,676	387	1,289	76.9%
特別支援学校	490	226	93	133	58.8%
無回答	3,292	1,292	617	675	52.2%
全体	44,224	12,570	5,342	7,228	57.5%

今回調査で未受診率が最も高く、一番低い小学校でも 5 割弱であった。う歯が多いにも関わらず受診に至らないケース、本人が歯科受診を嫌がるケースが報告された。また、歯列咬合では歯科矯正まで望む家庭は少ないとの指摘があった。

また、口腔崩壊ありの子どもがいと回答した学校が 28 校あった。
＊口腔崩壊ありとは、むし歯が 10 本以上ある。歯の根しか残っていないような未処置歯が何本もあるなど咀嚼が困難な状態。

歯科受診困難事例

- ・永久歯にもう歯が 9 本あり、咀嚼が困難であると思われたため、保護者（両親）に早急に受診をするようお伝えしたが、なかなか受診に至らず困っている。
- ・生徒が受診を嫌がった。
- ・治療を始めていますが、あまり芳しくない。もう一人は口が大きく開けられずえびてしまうので様子を見てい

県内の小学校から高校、特別支援学校の 676 校の校長・養護教諭宛に送付し 185 校（回収率 27.4%）から回答を得た。

今回の調査は全国的に実施されている。全国での調査結果は下記 QR コードまたは保団連ホームページ（保団連「ホーム」→「活動、ニュース」→「私たちの意見、提言」→『『2020 年度学校健診後治療調査』結果報告とお礼』）から閲覧可能。



全国調査の QR コード

(2) 眼科

①眼科健診

区分	眼科健診	要受診	受診	未受診	未受診率
小学校	18,421	507	311	196	38.7%
中学校	10,377	271	121	150	55.4%
高校	3,562	121	11	110	90.9%
特別支援学校	506	50	21	29	58.0%
無回答	2,233	141	86	55	39.0%
全体	35,099	1,090	550	540	49.5%

②視力検査

区分	健診実施	要受診	受診数	未受診	未受診率
小学校	21,416	6,086	3,520	2,566	42.2%
中学校	11,673	4,734	2,032	2,702	57.1%
高校	8,908	2,803	533	2,270	81.0%
特別支援学校	512	132	50	82	62.1%
無回答	3,448	1,222	580	642	52.5%
全体	45,957	14,977	6,715	8,262	55.2%

必要感を持っていただけない。

・なかなか医療につながらないことが多い。家庭の差が激しい。

・受診控えなのか分からないが未受診が多い。

・コロナで、なかなか受診していただかず、見えにくさからか、頭痛を訴えてくる児童がいた。

(3) 耳鼻科

①耳鼻科健診

区分	健診実施	要受診	受診数	未受診	未受診率
小学校	14,774	1,513	862	651	43.0%
中学校	7,841	752	235	517	68.8%
高校	2,708	296	36	260	87.8%
特別支援学校	345	27	15	12	44.4%
無回答	1,746	201	88	113	56.2%
全体	27,414	2,789	1,236	1,553	55.7%

②聴力検査

区分	健診実施	要受診	受診数	未受診	未受診率
小学校	16,082	131	106	25	19.1%
中学校	9,322	74	35	39	52.7%
高校	6,269	28	18	10	35.7%
特別支援学校	438	9	5	4	44.4%
無回答	2,427	20	0	20	100.0%
全体	34,538	262	164	98	37.4%

耳鼻科受診困難事例

- ・聴力検査で両耳とも聞こえにくさあり。再度保護者へ受診をお願いするも未受診。
- ・休校中、ゲームをヘッドホンをつけ

てやっていたようで、両耳の聞こえにくさがあった。親は仕事で忙しいため受診につながっていない。

・アレルギー疾患がほとんどで、市販薬で様子みる家庭が多い

(4) 内科

区分	健診実施	要受診	受診数	未受診	未受診率
小学校	21,735	869	615	254	29.2%
中学校	11,228	373	231	142	38.1%
高校	8,846	209	121	88	42.1%
特別支援学校	529	6	3	3	50.0%
無回答	3,347	116	57	59	50.9%
全体	45,685	1,573	1,027	546	34.7%

身長）に関する受診勧奨に応じてもらえないといった回答が目立った。

内科受診困難事例

- ・貧血があり再三受診をすすめたが受診しなかった。

・肥満傾向児の体重増加が大きい。

・登校しぶり児童が増えたり、生活リズムがくずれてしまったりする児童も

眼科健診、視力検査ともに高校での未受診率が高く 8 割以上が未受診となっている。また、困難事例では座席の配置に困っているという回答や眼鏡が壊れたまま修理していないといった報告もあった。

眼科受診困難事例

- ・0.3 未満のため生活に不便だと思われる。
- ・受診を勧めたが、

耳鼻科健診では中学校で 7 割弱、高校では 9 割弱が未受診。アレルギー疾患の場合は市販薬で様子を見る家庭が多いとの回答があった。

聴力検査では未受診率は少なくなるが、聴力低下について受診勧奨しても必要性を感じてもらえないケースも報告されている。

各診療科のなかでは未受診率が最も低かったが、受診困難事例では肥満児増加、不登校増加の指摘や、貧血、心電図要精検、発育（高身長、低